

平成22年度 第45期
事業報告書

自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

社
法
人

あゆみの箱

会 長 中村メイコ

平成23年6月4日

ことしのお正月早々に、たくさんのタイガーマスク、伊達直人さんが、全国に表れました。ちょっと照れくさいやり方ですけど、何もしないよりは、よっぽど立派なことをなさったものです。ランドセルだって、けして安いものではなくて、ちょっとお小遣いで、などと買えるものではありません。

世の中が、少し、とげとげしいから、伊達直人さんのニュースに、ホッとしたのではないのでしょうか。あそこまで大げさにならなくても、ふだんから、ささやかでもいいから、思いやりの心を持っていれば、あたたかくて、ふんわりとした、世の中になると思うんです。

そんなことを考えているときに、あの大地震がおきてしまいました。津波が引いた後に、次々と映し出される光景は、わたしたちの目を疑うようなものばかり、何度くりかえし見ても、恐ろしさで、釘付けになってしまいます。

ひとびとが、何十年も、百年以上もかけて作りあげたものが、たった一回の津波で、ぜんぶなくなってしまう。人間の力が、こんなに小さく見えることが今までにあったでしょうか。

戦後の焼け野原から、日本人はみごとに、たちなおりました。力を合わせれば、必ずたちなおる事が出来ます。いいえ、たちなおらなければいけないのですから・・・、ひとりひとりが、ささやかでも出来ることを、コツコツと、少しでも続けて、災害にあった人たちを助けてあげることが、とても、大切だと思います。

とくに若い方たちは、希望を失わずに、あきらめずに、協力し合って、一日でも早くたちなおってほしいと思っています。

あゆみの箱が、少しでもお役に立つように、みなさまが、たくさんの意見やアイデアを、あゆみの箱におよせくだされば幸いに存じます。

また、皆様、くれぐれもお体を大切に。ご健康をご祈念申し上げます。

中村メイコ

【 基 調 報 告 】

平成22年度を総括するにあたって、3月11日の大震災を抜きにして語ることはできません。それが、法人の収支に無関係なことであっても、日本人にとって未経験の災害は、私達に、実に多くの事を考えさせています。

被災地には、3カ月を経ようとしている今も、復旧、復興の青写真ができていません。避難所生活がいつまで続くのか、はっきりとした答えは、「来年1月までには・・・」というものです。あと半年もの間避難所で暮らす人たちがいるわけです。ITを謳歌している時代、時速350キロの新幹線が本州から九州まで日本を縦断する時代、人間が雲よりも高いマンションで日常生活が出来る時代、そんな時代に、災害で明日食べる物もなく住む場所もない人たちが20万人もいる。自国内で被災した国民を国は助けることが出来ない、どうすればよいか判断できない。何かちぐはぐな、何かが違うような、今までの文化とか文明というのが、ひょっとしたら間違っているような、妙なアンバランス感を感じてしまいます。

自国内で難民化してしまった方たちの中に、障害者や要介護高齢者が多数存在しています。障害児者に関して言えば、施設に入所できるのは20%にも及ばないごく一部の人たちです。80%以上の障害児者は自宅で寝起きして、作業所や施設、学校に通っています。その人たちは、健常者と一緒に避難所で生活しなければなりません。

一方で、施設に入所している障害児者は、どうなっているのでしょうか。例えば、岩手県山田町では、町が壊滅し障害者施設も流失しました。生き残った施設職員たちは、廃業したホテルを借りて、流失した2つの施設の入所障害者のケアを再開しました。設備もなく、生活物資すらままならない状態です。といて、ケアする人がいないと、障害者は死の危険にさらされます。明日はどうなるか分からなくても、とにかく障害者の様子が見える場所を確保する、その思いで始めたと聞いています。こういうところに支援の手を伸ばさなければいけないと考えています。

あゆみの箱は、4月下旬に、岩手県と宮城県の障害者施設220ヶ所に、第1回目の災害調査を行いました。ファクスで送った調査票が、着信不可で届かなかった施設は28か所でした。(前述の山田町の施設も着信不可でした。)回答してきた施設は、被災しても事業が続けられる施設ばかりで、「流失した」と回答してきたのは1施設のみでした。本当に欲しい情報は、回答できない状態になっている施設からのものではないだろうか。事務局が感じたジレンマは、相当に大きいものでした。

今まで行ってきた「災害調査」とは災害の質が違う事を感じました。情報を発信できない程ダメージを受けた施設、立ち直ろうとしている施設、被害がなく被災者を受け入れている施設、それぞれに、素早い有効な支援が必要であることは明白です。また、3月11日から長期間に亘って事業が出来なかった作業所や施設は、その間の収入が途絶え、組織の維持運営にかなりの支障が出てきています。その保障への国からの回答はまだありません。

福祉の基本的な問題は、国の善政を待たなければなりません。あゆみの箱は、一民間法人として、この問題を風化させずに、地道に取り組みを続けようと考えております。

事務局長 市川 顯

平成22年度第45期事業報告書

※以下の文章で、「法人」と書き表したものは、「社団法人あゆみの箱」を意味します。

I 収入

法人の収入は、募金箱収入、寄附収入、協賛事業収入で成り立っています。便宜上、それらを次のように定義しています。

1. 募金箱収入 : 店頭などに常設された募金箱で回収されるもの。
2. 寄附収入 : 募金箱を経由せず直接寄附される一般的なもの。
3. 協賛事業収入 : 法人が後援する場合や、法人の支援を目的としたイベントや会合で、その収益や募金が寄附されるもの。
4. 会費収入 : 法人の正会員と賛助会員から納付されるもの。

以上の4点について、22年度のご報告をいたします。

《 1. 募金箱収入 》

①募金箱の動きと募金箱収入

22年度に開箱して引き続き募金箱会員として協力してくれる場合、今回で募金箱会員を辞退する場合、22年度中に新たに募金箱会員として登録してくれる場合、これらの募金箱の動きは表1に、開箱下募金箱会員の一覧は表2のようになっています。

新規が激減し、逆に中止が急増しています。景気が低迷して、今後の期待も持てない状況では、募金をする意欲は減退してしまうでしょう。大変にめぐりあわせの悪い時代にあると思います。

一方で、東日本大震災の復旧、復興の為に、多くの義援金を必要とします。災害時の義援金と平常時の募金を単純に比較することには無理がありますが、あえて比較をしてみると、義援金は、非公式ですが、4月20日時点で、海外と併せて1600億円、国内で1200億円と言われています。日本赤十字と共同募金会の1年間の募金額は合計で400億円強ですから、日本人の潜在的な募金力は、大変に大きなものであることが良く判ると思います。

【表1 募金箱の動き】

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
回収(継続)	2483箱	4032箱	3391箱	4204箱	3485箱
新規	145箱	455箱	441箱	104箱	14箱
中止	70箱	43箱	46箱	70箱	107箱
募金額	14,231,697-	15,120,218-	11,691,916-	13,361,996-	11,027,369-
1箱の平均額	5,574-	3,710-	3,402-	3,178-	3,469-

【表2 22年度開箱の状況（県別・順不同・敬称略 平成22年4月1日～平成23年3月31日）】

《 北 海 道 》	《 埼 玉 県 》	《 東 京 都 》
有限会社ラーメンすがわら	株式会社ニュー富士大穀新座店	株式会社大庄・大庄グループ
北空知信用金庫	サイタマ健康ランド	●庄や●やるき茶屋●こりやうめえ●99
《 青 森 県 》	慈眼院	●呑兵衛●あっぱれ●鮮乃庄●榮太郎
株式会社青森銀行	埼玉県麺類業生活衛生同業組合所沢支部	●日本海庄や●ちゃぼん●讃岐茶屋
《 岩 手 県 》	岩槻麺業組合	●大和路●築地日本海●ジョン万次郎
食事処一平	埼玉県麺類青年会ふじみ野支部	●とん兵衛●マ・メゾン●うたうんだ村
株式会社岩手銀行	川越そば商組合	●塩梅●太平洋●みやび●日本海●結
《 宮 城 県 》	埼玉県麺業青年会鳩ヶ谷川口支部	●中の濱●イズ・プランニング
株式会社七十七銀行	《 千 葉 県 》	株式会社大庄・関西店舗グループ
《 秋 田 県 》	千葉県麺類組合青年部千葉支部	株式会社大庄・中部店舗グループ
子吉公民館	TCSしぶや	三笠製菓株式会社あゆみの箱協定会
株式会社平沢機関修理工場	《 東 京 都 》	東京馬場先門ライオンズクラブ
株式会社勇心	株式会社アルプスケアサービス	●東京會館●金魚園有楽町店
《 山 形 県 》	株式会社アルプス商事	●ドールコーヒー有楽町店
株式会社山形銀行	株式会社麻布永坂更科本店	●ドールコーヒー目白駅前店
株式会社荘内銀行	鈴木屋酒店	協同組合日本俳優連合
《 栃 木 県 》	花ゆき会	株式会社日本旅行東日本営業本部企画部
有限会社ふみきり寿司	医療法人榊島会榊島病院	ホテルコムズ太田市場
株式会社のぐち	東京美々卯京橋店	カラオケ広場どうぶつ宴
有限会社勇力建設	株式会社三国一	DISC. FIVE
両毛ヤクルト販売株式会社親和会	恵比寿 中島	株式会社白富士
有限会社日東タイヤ商会	株式会社長沢企画	瀬田モダンゴルフ
栃木県麺業組合青年会鹿沼支部	株式会社中村屋本店ルパ	あすなる宿山店
栃木県麺業組合青年会宇都宮支部	新宿ニューシティホテル	そば季寄武蔵屋
栃木県麺業青年部栃木支部	中華料理百番	ショップ99中野新橋店
《 群 馬 県 》	社団法人日本芸能実演家団体協議会	大石写真館
群馬県麺業青年会	飯田屋 有限会社 羽木 正	喫茶みに
《 埼 玉 県 》	生活彩家青山2丁目店	医療法人社団岡部内科
エーデル	織研新聞社	株式会社 瀬里奈
有限会社嘗根商店	コア白金台店	ampm 目黒中央町1丁目店
エミリーホームズ	財団法人日本厚生会玉川病院	ペットサロントランブ
株式会社岸屋	シフトワ	有限会社吉原工業所
キッチンデコ	有限会社木村屋酒店	株式会社東京都民銀行
あびーろーど	有限会社 もつ焼き三平	株式会社東日本銀行
博物館ティーラウンジ山吹	有限会社 花福	株式会社三井住友銀行
大宮ロータリークラブ	エビス商店街振興組合	さわやか信用金庫
大宮シティロータリークラブ	株式会社サンライズ	東栄信用金庫
ムッシュ	株式会社新屋堂全店舗	西武信用金庫恵比寿支店

《 神 奈 川 県 》	《 石 川 県 》	京都府麺類組合青年会
有限会社酒井商店	石川県麺業青年会	《 大 阪 府 》
そば処尾張屋	《 福 井 県 》	牛角 北花田店
エスパティオ横須賀店	福井県麺業青年連合会	社会医療法人北大阪病院
箱根水明荘	《 静 岡 県 》	大阪府麺業青年会
パール美容室	ホテルクラウンパレス浜松ゼフィール	《 岡 山 県 》
神奈川県麺類生活衛生同業組合	ホテルクラウンパレス浜松フロント	岡山ヤクルト販売株式会社
神奈川県蕎麦組合藤沢支部	ホテルクラウンパレス浜松ラポ	《 広 島 県 》
神奈川県麺類生活衛生創業組合保土ヶ谷支部	ホテルクラウンパレス浜松四季	株式会社 賀茂カントリークラブ
川崎稲生そば商組合	静岡産業大学レストラン・売店	ミスズガーデン株式会社
座間市蕎麦商組合	スルガ銀行株式会社	《 香 川 県 》
横須賀そば商組合	《 愛 知 県 》	株式会社たまや
神奈川県麺業組合横浜南第二支部	株式会社伊良湖ガーデンホテル	《 高 知 県 》
川崎蕎麦商組合青年会	株式会社 間組 名古屋支店	株式会社高知銀行
ポプラ仲町台駅前店	ハイマート日長台店	《 福 岡 県 》
ヤマザキデイリーストア横浜寺山町店	名鉄犬山ホテル	ハートイン博多店
ホテルキャメロットジャパン	珈琲 松	ハートイン小倉SC店
株式会社スズキヤ逗子駅前店	愛知県麺業青年会	中間木曾タクシー 木曾泰治
株式会社神奈川銀行	タニザワフーズ株式会社	《 長 崎 県 》
さがみ信用金庫	●ケンタッキーフライドチキン●吉野家	居酒屋じゃんじゃん
《 新 潟 県 》	●びっくりにんぎょ●大戸屋ごはん処	《 熊 本 県 》
珈琲工房アソシエ	●サーティワンアイスクリーム	有限会社谷田商店
白根健生病院	●リンガーハット	《 鹿 児 島 県 》
新潟県麺類飲食業生活衛生同業組合	株式会社愛知銀行	喜界町役場
伊藤建設株式会社	株式会社中京銀行	株式会社上田商店
ハローアンドハロー	株式会社名古屋銀行	喜界町国民健康保険事務所
株式会社遠藤孝商店	豊田信用銀行	カットスペース来夢
株式会社 第四銀行	西尾信用金庫	Aコープ喜界店
みずきの珈琲倶楽部	《 京 都 府 》	喜界徳洲会病院
	新京極シネラリーベ	ニシムタFC喜界店

表2の栃木県と岡山県にヤクルト販売が載っていますが、古い方には懐かしい名前だと思えます。ヤクルトは、法人の強力な協賛法人で、募金箱を製作してくれたり、ヤクルトホールを無料で貸してくれたり、販売店に募金箱を置いてくれたり、ヤクルト親和会がチャリティーゴルフを毎年開催してくれたり、大変に力を注いでくれました。経営上、法人の助成から撤退して10年以上が経ちましたが、一部の販売店で、あゆみの箱を復活させようと思ってくれる所が出てきました。さらに広がることを期待しています。

②開箱式典

以下の企業、団体の募金の集計発表がとり行われました。

- ・大宮ロータリークラブ 平成22年6月16日（水）
- ・大宮シティロータリークラブ 平成22年6月23日（水）
- ・東京馬場先門ライオンズクラブ 平成22年11月9日（火）
- ・大庄グループ（大庄フランチャイズグループ） 平成22年11月30日（月）
- ・株式会社大庄（直営店） 平成22年12月2日（水）

《 2. 寄附収入 》

22年度の寄附収入には、23年3月11日の東日本大震災の支援の為の義援金が含まれます。①一般の寄附収入と、②震災災害支援募金について掲載いたします。

①一般の寄附収入

【表3 寄附金の動き】

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
4,466,881-	2,956,046-	2,631,919-	3,900,769-	1,892,144-

【表4 平成22年度 寄附をして下さった方の一覧（順不同、敬称略）】

※平仮名は、インターネットや銀行を利用したため漢字が特定できない方、（ ）内は回数です。

4月	天地総子・(株)アルプス商事千葉営業所 進藤・松本なを・高橋昭（2）・フラワーバトンスクール 酒井和江・おおさわせいき・きしもとたかのぶ	9件
5月	大熊信博・大竹江美（2）・高橋昭（2）・きしもとたかのぶ（2）・長峰透・くわはたとよかず 全日本空手道剛柔流会会長 深利勝之・なかにししんや	11件
6月	高橋昭（2）・須貝喜久雄・三崎千恵子・熊谷化成(株)・在原さち子・ペギー葉山・塩川喜一 きしもとたかのぶ（2）	10件
7月	坂田文晴・増田有子・きしもとたかのぶ（2）・隅田静子・富田茂三郎・高橋昭・本多利恵子	8件
8月	（社）日本鳩レース協会・坂田文晴・高橋昭（2）大竹江美	5件
9月	いわもとようこ・高橋昭・大竹江美・日本選抜美術家協会・いのうえゆかこ・坂田文晴	6件
10月	きしもとたかのぶ（2）・高橋昭（2）・純見紗・やまぐちなおき・フラワーバトンスクール	7件
11月	大竹江美（2）・きしもとたかのぶ・高橋昭（3）・松永清馬場先門ライオンズクラブ 新邦楽舞踊若泉流家元 若泉徳栄	8件
12月	在原さち子・朝日丘中学校3年6組・小川定吉・高橋昭・上智大学応援団・大竹江美・ごとうひろき きしもとたかのぶ	8件
1月	高橋昭（3）・増田有子・東京衣裳（株）・Fコーポレーション・大竹江美	7件
2月	高橋昭・在原さち子・赤木春恵・御山洋子・林るり子・須貝喜久雄・半田千賀子・久保明・佐々木文生 まるばやししょうすけ	10件
3月	高橋昭・（社）日本鳩レース協会・大竹江美・松田亨・大石直臣・しらいしけいこ・宝井駿之介 永瀬もも・ニチレイふれあい基金（注）	9件

（注）ニチレイふれあい基金からの寄附は、法人が頂いている唯一の「助成金」です。

表4から、22年度の寄附件数は98件になりました。昨年度の114件に比べて減少していますが、件数以上に金額の減少の幅が大きくなっています。毎年、変わらず寄附をくださっている方には、心から御礼を申し上げたいと思います。

②震災災害支援募金

法人では、東日本大震災の義援金をホームページで受け付けています。期限を6月30日として、以降は、第2回目の義援金募集にする予定でいます。並行して、街頭募金を行い、義援金として併せて集計しています。年度が23年度分も含まれますが、全体を理解してもらうために、平成23年5月2日までの集計結果を表5に掲載します。

義援金は、事務局での募集と並行して、さいたま市を中心とした地域で、半田千賀子理事に、独自で募金活動を行っていただきました。主宰するカルチャースクールの生徒が一生涯懸命呼び掛けて集めてくれたものです。事務局から心より御礼を申し上げます。

【表5 義援金を頂いた方（敬称略）】

	氏名	金額
平成23年 3月17日	純 見紗	5,207-
3月20日	匿名希望	420-
3月30日	匿名希望	20,000-
3月30日	街頭募金 東京・下北沢	20,382-
3月31日	街頭募金 東京・二子玉川	7,688-
	22年度 合計	53,697-
4月 1日	街頭募金 東京・三軒茶屋	55,406-
4月 3日	街頭募金 東京・自由が丘	7,032-
4月 5日	街頭募金・東京・渋谷	13,611-
4月 7日	狼火の会	100,000-
4月 8日	街頭募金 東京・成城学園前	14,961-
4月 9日	街頭募金 東京・千歳烏山	7,333-
4月10日	街頭募金 東京・浅草	54,364-
4月15日	イチカワアキラ	10,000-
4月22日	熊谷化成株式会社 蓮実正道	20,000-
4月28日	匿名希望	100,000-
4月30日・5月1日	場内募金・さいたま市民会館大宮	92,762-
5月 2日	株式会社スタンドアップ	50,000-
5月 2日	株式会社テレビ埼玉ミュージック	20,000-
	総 計	599,166-

※4月30日・5月1日の場内募金は、F・コーポレーション、フラワーパトンスクールの協力によるものです。

この義援金に関しては、あとの議案で、今後の活動、義援金の配分方法などを審議して頂きますので、宜しくお願い致します。

《 3. 協賛事業収入 》

平成22年度までの協賛事業収入の比較は表6になります。

【表6 協賛事業収入の動き】

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
2,734,987-	3,062,730-	2,273,791-	1,049,327-	1,252,802-

表6の平成22年度の内訳は以下のようになります。

- ①平成22年4月3日(土) 公演名：天地総子50周年記念リサイタル
主催者：(株)フタクシオンフコ 常務理事天地総子
場 所：ハクジュホール
活 動：売店設営
- ②平成22年4月18日(日) 公演名：スプリングステージ
主催者：エフ・コーポレーション(有) 理事半田千賀子
場 所：さいたま市民会館おおみや
活 動：場内募金
- ③平成22年7月3日(土) 公演名：第7回艶歌の祭典
主催者：NPO 法人艶歌歌謡協会
場 所：新宿文化センター
活 動：場内募金、収益からの寄附
- ④平成22年7月30日(金) 公演名：永瀬ももニューウェイヴコンサート
主催者：日本マーキュリーレコード
永瀬もも理事、宝井駿之介理事
場 所：上野水上音楽堂
活 動：場内募金、障害者招待
- ⑤平成22年8月1日(日) (社)日本鳩レース関東地方部総会
活 動：寄附
- ⑥平成22年8月8日(日) 公演名：大森屋カラオケファンの集い
主催者：大森屋(津市麺業)、田矢音楽教室
場 所：津市リージョンプラザお城ホール
活 動：場内募金
- ⑦平成22年9月25日(土) 公演名：国際美術大賞典
主催者：日本選抜美術家協会
場 所：東京芸術劇場
活 動：場内募金、寄附
- ⑧平成22年10月10日(日) 公演名：ホクト一会秋の歌謡祭
主催者：ホクト一会 原一平常務理事
場 所：市川市民会館
活 動：場内募金

- ⑨平成22年10月21日(木) 公演名：日本司会芸能祭
主催者：日本司会芸能協会
場 所：中野サンプラザ
-10- 店舗設営
- ⑩平成22年10月24日(日) 公演名：オータムステージ
主催者：エフ・コーポレーション(有) 理事半田千賀子
場 所：さいたま市民会館おおみや
活 動：場内募金
- ⑪平成23年1月22日(土) 公演名：ウインターステージ
主催者：エフ・コーポレーション(有) 理事半田千賀子
場 所：さいたま市民会館おおみや
活 動：場内募金

《 4. 会費収入 》

法人の正会員は、企業で言うところの社員に該当します。無給の社員、法人に奉仕するだけの社員という事になります。普通に考えると、誰もなりたがらない、法人にとって都合のよすぎる規程に思われます。

「社団法人」というのは、「同じ目的を持った人たちが、目的達成の為に活動する法人」と定義され、「財団法人」は、「資産を、ある目的に使う為に活動する法人」と定義されています。「社団法人」には「資産」が書かれていませんので、会費が最も基本的な収入になります。「同じ目的を持った人たち」の会費で運営する、という考え方のもとに多くの「社団法人」が認可を受け、現在に至っています。

ですから、会費収入のない社団法人は、社団法人としては認めてはもらえません。活動するための基本的な資産が存在しないからです。正会員全員から、毎年、会費を徴収し、記録簿を完備しておくこと、これは、社団法人として認可を維持する最低の条件です。

ひとたび正会員として登録すると、社員ですから、簡単に解雇(退会)することはできません。一般企業と違って、リストラはできません。リストラすることは、社団法人の認可を取り消されることに繋がります。正会員の退会する意思か、または、法人に正当な理由が無ければ退会させることはできません。

法人の理由で退会してもらうには、会費未納入、会員の規程違反、会員による法人の名誉棄損などがあります。会費納入は、会員の大きな義務として扱われている事が理解して頂けると思います。

正会員個々に様々な事情があると思いますが、全会員から会費が納入された年は、一度もない状態です。毎年、必ず、数名の未納があります。社団法人として存続する道を探っている現状で、事務局としては、基本的な事柄に関する同意は得ていたいと思っています。

この場をお借りして、正会員の皆様にも、毎年度末の会費納入通知が届きましたら、納入してくださいますようお願い申し上げます。

Ⅱ 支出(配分・助成)

ここでは、法人の掲げる公益目的事業が、平成22年度はどの程度実行されたかをご報告いたします。法人の目的事業は、募金などの収入を広く公平に寄附する事業（便宜上、これを配分と言います。）と、寄附の要請に対して助成する事業、また、災害時の被災地施設を支援する事業があります。

1. 配分事業（推薦型）

全国の障害児者と要介護高齢者の施設に物品を寄贈する事業。

2. 一般助成事業（公募型）

法人の公募に対して申請してきた団体や福祉法人に助成する事業。

3. 車椅子清掃ボランティア助成事業（公募型）

おもに、特別養護老人ホームで使われている車椅子を清掃するボランティアに、必要な経費を助成する事業。

4. 災害物資支援事業

地震や台風、局地的豪雨などで被災した施設に物資援助する事業。

以上4点について、ご報告いたします。

《 1. 配分事業（推薦） 》

この事業は、ほとんどが、12月の「年末配分＝クリスマスプレゼント」という名目で行われます。各県の社会福祉協議会や、協賛企業・団体の推薦を参考にして施設を選定し、テレビや車椅子など、施設に有益なものを寄贈します。寄贈品は、毎年のアンケートによって変化する事があります。

22年度の年末配分には、地デジ対応液晶テレビ、マスク、プラスチックグローブ、プリンター、の4種類を寄贈しました。表7に記載しました。

また、表7の「年末配分」とは別に、表8の配分をいたしました。

表8にある車椅子は、北海道麺業から、車椅子が不足している釧路市役所に車椅子を2台寄附してほしいとの要望に基づいたものです。

同じく表8にあるマスクは、会員の坂田文晴氏から6万枚の現物寄附があり、3千枚を1単位として都内の施設に配布したものです。この企画は、東京善意銀行に協力を求めて、東京善意銀行の推薦する施設から20施設を決めようというものでした。善意銀行が募集を懸けたところ、鳥インフルの影響も残っていて、応募施設の数は予想をはるかに超えていたそうです。また、1施設3千枚では需要に足りないらしく、六千枚を希望する施設が圧倒的に多く、寄附する施設の数は予定の20施設の半分の11施設にとどまりました。

表7 平成22年度年末配分先一覧

※寄贈品の内訳は表の最後に記載してあります。

	地域	寄贈先名	寄贈先住所	寄贈品	数	寄贈実施日
1	北海道	北海道クリスチャンセンター	札幌市北区北7条西6丁目	TV	1	H22.12.15
2	青森	青森県小規模作業所連絡協議会	青森市平岡 30-11	TV	1	H22.12.16
3		青森障害者との会 コスモス	青森市新城字山田 671-49	プリンター	1	H22.12.13
4	岩手	大洋学園	大船渡市立根町下欠 125-15	TV	1	H22.12.15
5		一関藤の園	一関市山目字館 2-5	プリンター	1	H22.12.10
6	宮城	名取市みのり園	名取市増田 1-8-34	TV	1	H22.12.13
7		身体障がい者通所授産施設 一寿園	仙台市太白区富田字南ノ西 26	TV	1	H22.12.15
8		知的障害者通所授産施設 すまいる作業所	仙台市泉区南光台東 3-11-35	TV	1	H22.12.15
9		就労移行支援事業所 登米大地	登米市迫町新田字山居 38-1	マスク	1	H22.12.21
10		レインボー多賀城	多賀城市鶴ヶ谷 1-10-3	マスク	1	H22.12.20
11		第二虹の園	角田市佐倉字裏一番 63	手袋	1	H22.12.20
12		知的障害者通所授産施設 ぎんの星	東松島市矢本字太子前 324-3	手袋	1	H22.12.20
13	山形	地域活動支援センター ドリームハウス	最上郡真室川町大字新町 127-5	TV	1	H22.12.15
14		工房 せい	鶴岡市大山 3-36-35	プリンター	1	H22.12.13
15	茨城	重症心身障害児施設 青嵐療育園	古河市上大野 698	TV	1	H22.12.12
16	栃木	障害福祉サービス事業所 CCV ウェルフェア	鹿沼市茂呂 1997-2	TV	1	H22.12.13
17		知的障害者通所授産施設 ハート二宮	真岡市久下田 1798	プリンター	1	H22.12.10
18	埼玉	わーくほーむ江南	熊谷市板井 925-2	TV	1	H22.12.20
19		レモンカンパニー	三郷市早稲田 1-11-13	TV	1	H22.12.15
20		地域デイケア施設 空と雲の家福祉作業所	羽生市常木 1104-3	プリンター	1	H22.12.15
21		多機能型事業所 さくら	さいたま市北区宮原町 2-45-7	マスク	1	H22.12.20
22		地域福祉活動グループ おにっこハウス	熊谷市板井 1630-7	マスク	1	H22.12.20
23		さといも作業所	桶川市末広 2-8-29	手袋	1	H22.12.20
24	千葉	特別養護老人ホーム 清和園	千葉市若葉区多部田町 1468	TV	1	H22.12.11
25	東京	特別養護老人ホーム みどりの郷福楽園	江戸川区臨海町 1-4-4	TV	1	H22.12.11
26		特別養護老人ホーム 第2カントリービュウ青梅	青梅市長淵 1-939-1	TV	1	H22.12.11
27		特別養護老人ホーム 爽爽荘	調布市飛田給 3-37-1	TV	1	H22.12.11
28		身体障害者通所授産施設 ライフサポートつばさ	東村山市富士見町 3-4-16	TV	1	H22.12.13
29		知的障がい者入所更生施設 目黒恵風寮	目黒区大橋 2-19-1	TV	1	H22.12.13
30		知的障害(者)通所訓練事業所 あらぐさ分教所	町田市木曽西 4-17-7	TV	1	H22.12.14
31		精神障害者生活訓練施設 たまこヒルズ	武蔵村山市中藤 2-28-1	TV	1	H22.12.11
32		精神障害者共同作業所 ひあしんす城北	板橋区小茂根 4-18-14	TV	1	H22.12.13
33		就労継続支援事業所 なごみの里	東村山市久米川町 3-12-8	TV	1	H22.12.15
34		心身障害者授産事業所 カタバミ作業所	国立市西 2-20-8	TV	1	H22.12.13
35		知的障害児施設 宮代学園	渋谷区広尾 4-2-12	プリンター	1	H22.12.10
36		知的障害者通所授産施設 ワークセンターいちよう	羽村市栄町 2-18-1	プリンター	1	H22.12.15
37		葛飾幼児グループ	葛飾区青戸 3-10-5 青戸児童館内	プリンター	1	H22.12.10
38		地域デイサービス でんでん虫の家作業所	町田市真光寺町 226-1	プリンター	1	H22.12.11

39	東京	にんじんの家作業所	八王子市館町 25-1	プリンター	1	H22.12.10	
40		就労移行支援事業所 あおいと日野	日野市東平山 3-1-27	プリンター	1	H22.12.21	
41		就労継続支援事業所 いくせい工房	三鷹市新川 3-10-8	プリンター	1	H22.12.10	
42		肢体不自由児施設 中央愛児園	〒13- 稲田 2-2-8	マスク	1	H22.12.20	
43		身体障害者入所授産施設 たましろの郷	青梅市長淵 5-1420-2	マスク	1	H22.12.20	
44		知的障害者通所更生施設 いずみえん	大田区矢口 3-1-5	マスク	1	H22.12.24	
45		知的障害者入所更生施設 武蔵立川学園	立川市西砂町 4-75-4	マスク	1	H22.12.20	
46		知的障害者入所更生施設 澄水園	小平市小川町 1-485	マスク	1	H22.12.20	
47		知的障害者入所更生施設 山の子の家	西多摩郡日ノ出町大久野 8025-11	マスク	1	H22.12.20	
48		特別養護老人ホーム 三井陽光苑	江東区新砂 3-3-37	手袋	1	H22.12.20	
49		特別養護老人ホーム 練馬キングス・ガーデン	練馬区早宮 2-10-22	手袋	1	H22.12.20	
50		特別養護老人ホーム 足立翔裕園	足立区入谷 9-15-18	手袋	1	H22.12.23	
51		特別養護老人ホーム 足立新生苑	足立区花畑 4-39-10	手袋	1	H22.12.20	
52		特別養護老人ホーム 信愛の園	清瀬市梅園 2-3-15	手袋	1	H22.12.20	
53		特別養護老人ホーム 青陽園	八王子市川口町 1543	手袋	1	H22.12.20	
54		特別養護老人ホーム 日の出ホーム	西多摩郡日ノ出町平井 3076	手袋	1	H22.12.20	
55		知的障害者作業所 喜多見福祉作業所	世田谷区喜多見 9-1-35	手袋	1	H22.12.20	
56		神奈川	社福)春光学園	横須賀市小矢部 2-14-1	TV	1	H22.12.11
57			聖園子供の家	藤沢市みその台 1-3	TV	1	H22.12.11
58	社福)新日本学園		川崎市中原区木月伊勢町 3-3	TV	1	H22.12.11	
59	川崎授産学園		川崎市麻生区細山 1209	マスク	1	H22.12.20	
60	白十字林間学校		茅ヶ崎市富士見町 4-54	マスク	1	H22.12.20	
61	神奈川	成光学園	座間市緑ヶ丘 4-20-21	マスク	1	H22.12.24	
62	新潟	障害者支援施設 かたくりの里	新潟市西蒲区橋本 88-1	TV	1	H22.12.11	
63		知的障害者授産施設 みどりの家	村上市羽黒町 1-3	TV	1	H22.12.11	
64	石川	就労継続支援事業所 クローバー	金沢市小立野 3-17-5	TV	1	H22.12.13	
65	福井	児童デイサービス事業所 しいのみ	坂井市丸岡町一本田 35-41	TV	1	H22.12.15	
66		福井県社会福祉協議会	福井市光陽 2-3-22	TV	1	H22.12.15	
67	静岡	静岡県済生会 静岡医療福祉センター	静岡市駿河区曲金 5-3-30	TV	1	H22.12.13	
68		デイサービスセンター はーとびあ清水	静岡市清水区宮代町 1-1	TV	1	H22.12.11	
69		社福)浜松市社会福祉協議会	浜松市中区成子町 140-8	手袋	2	H22.12.20	
70		静岡市わらしな学園	静岡市葵区飯間 2263	手袋	1	H22.12.20	
71		宍原荘	静岡市清水区宍原 362	手袋	1	H22.12.20	
72	愛知	指定生活介護事業所 そだちの家	岡崎市欠町字清水田 7-1	TV	1	H22.12.13	
73		身体障害者通所授産施設 さくらワークス(にじま福祉会)	豊田市大成町 2-1	TV	1	H22.12.13	
74		身体障害者通所授産施設 リサイクルみなみ作業所	名古屋市南区元塩町 6-8-5	TV	1	H22.12.11	
75		身体障害者授産施設 名身連第一ワークス	名古屋市熱田区横田 2-4-22	TV	1	H22.12.13	
76		生活介護事業所 豊橋こしくち学園	豊橋市高師町字北原 1-103	TV	1	H22.12.13	
77		短期入所サービス事業所 額田の村	岡崎市金町字長沢連 6	マスク	1	H22.12.20	
78		生活介護事業所 ふきのとう	名古屋市緑区大高町字一色山 23	マスク	1	H22.12.20	

79	愛知	就労生活支援センター 童里夢	豊橋市石巻町字野田 6-5	マスク	1	H22.12.21
80		就労継続支援事業所 ワークスあおい	岡崎市島町 14-14	手袋	1	H22.12.20
81		障害児タイムケア施設 かるみあ	豊田市本新町 4-101	手袋	1	H22.12.20
82		障害福祉サービス事業所 しろがね	豊橋市野依町字山中 19-12	手袋	1	H22.12.20
83	三重	みどり自由学園	四日市市三浦 33-5	TV	1	H22.12.10
84		社福)喜樂里	津市榊原町字中上 4621	マスク	1	H22.12.20
85		おおぞら	伊賀市高畑字深田 784-2	マスク	1	H22.12.18
86	大阪	デーセンター夢飛行	大阪市西成区岸里東 1-5-25	TV	1	H22.12.11
87	香川	特別養護老人ホーム 弘恩苑	高松市前田西町 683-7	TV	1	H22.12.13
88		特別養護老人ホーム 岡本荘	高松市岡本町 527-1	TV	1	H22.12.11
89		特別養護老人ホーム すみれ荘	高松市十川西町 1234-1	TV	1	H22.12.12
90		グループホーム 志度玉浦園	さぬき市志度 1610-1	TV	1	H22.12.13
91		特別養護老人ホーム 白山山荘	木田郡三木町大字下高岡 2882-1	TV	1	H22.12.11
92		介護老人福祉施設 寿楽荘	綾歌郡宇多津町津の郷 170-1	TV	1	H22.12.13
93		特別養護老人ホーム 松林荘	綾歌郡綾川町山田下山王 435-4	TV	1	H22.12.11
94		特別養護老人ホーム 桃陵苑	仲多度郡多度津町西港町 127-3	TV	1	H22.12.11
95		介護老人福祉施設 引田荘	かがわ市引田 922-18	マスク	1	H22.12.20
96		特別養護老人ホーム たくま荘	三豊市詫間町詫間 7732-60	マスク	1	H22.12.20
97		特別容疑老人ホーム 楽々苑	綾歌郡綾川町滝宮 376-2	手袋	1	H22.12.20
98		特別養護老人ホーム 満濃荘	仲多度郡まんのう町長尾 1102	手袋	1	H22.12.20
99	高知	多機能型事業所 昭光園	高知市北本町 4-2-49	TV	1	H22.12.13
100	熊本	熊本ライトハウス	熊本市新生 1-23-1	TV	1	H22.12.13
101	鹿児島	はまゆり学園	大島郡喜界町大字赤連 38	TV	1	H22.12.14

※配分品内訳 ●TV：ソニーブラビア32型48台、22型3台

●プリンター：リコーレーザープリンター15台

●マスク：サージカルマスク1梱3,000枚×20梱=60,000枚

●手袋：プラスチックグローブ1梱4,000枚×20梱=80,000枚

※年末配分総額：¥4,796,270-

表8

	地域	寄贈先名	寄贈先住所	寄贈品	数	実施日
1	北海道	釧路市役所障害課	釧路市黒金町 7-5	車椅子	2	H22.10.13
2	東京	社福)つるかわ学園	町田市真光寺町 186	マスク	2	H22.7.12
3		社福)東京光の家	日野市朝日が丘 1-17-17	マスク	2	H22.7.12
4		全国重症心身障害児(者)を守る会 あけぼの学園	世田谷区三宿 2-30-9	マスク	1	H22.7.12
5		とぶき育成園	八王子市戸吹町 1636-1	マスク	2	H22.7.13
6		社福)田無の会	西東京市向台町 3-1-11	マスク	2	H22.7.12
7		グループホームゲンキ本天沼	杉並区本天沼 1-14-3	マスク	2	H22.7.12
8		秋津療育園	東村山市青葉町 3-31-1	マスク	1	H22.7.12
9		さやま園	東村山市富士見町 2-7-13	マスク	2	H22.7.12
10		瑞学園	西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎武蔵野 940	マスク	2	H22.7.12
11		社福)創生	練馬区土支田 3-4-20	マスク	2	H22.7.12
12		東京小児療育病院	武蔵村山市学園 4-10-1	マスク	2	H22.7.12

《 2. 一般助成事業（公募） 》

この一般助成事業の公募は、法人のホームページと、ボランティア・市民活動助成ガイドブック（東京ボランティア・市民活動センター発行）で行っています。NPOや各団体は都や市区町村からの補助金で活動していますが、それだけでは運営ができないため、社団や財団からの助成を活用する傾向があります。年間で不足する金額は、概ね、200万円から300万円です。社団や財団からの助成金がない場合は、親法人（社会福祉法人）や、その団体の父母会から借り入れて、行政からの補助金がない場合は返済し、年度末に借り入れてまた返す、自転車操業をしていると聞きます。

法人の助成額は、原則10万円ですから、とても不足分を補うには足りないと思うのですが、助成を受ける団体には、大変に喜ばれています。

補助金が削減される23年度は、助成の申し込みが多くなることも予想されます。

表9 一般助成事業の内訳

	地域	助成団体名	住所	金額・用途	実施日
1	東京	東京都精神障害者地域支援とうきょう会議 (東京都精神障害者バレーボール大会)	世田谷区梅ヶ丘1-33-9 B1	¥120,000- 練習用バレーボール100個	H22. 4. 23
2	東京	八王子セブクラブ A	八王子市川口町447-5	大会賞品 デジタルカメラ	H22. 11. 18
3	東京	夢来	八王子市別所1-3-18-201	大会賞品 デジタルカメラ	H22. 11. 18
4	東京	八王子セブクラブ B	八王子市川口町447-5	大会賞品 プリンター	H22. 11. 18
5	東京	共同作業所オーク	豊島区西池袋1-2-6 B1	大会賞品 プリンター	H22. 11. 18
6	東京	あとリエトントン	東大和市南街5-9-6-101	大会賞品 ワンセグTV	H22. 11. 18
7	東京	第2あとリエトントン	東大和市向原4-33-9-101	大会賞品 ワンセグTV	H22. 11. 18
8	東京	放課後クラブ ゆめクラブ	大田区池上6-13-11 1F	¥100,000- クッキングプレート(教材)他	H23. 1. 7
9	東京	手紙紙芝居ボランティアグループわの会	大田区蒲田4-31-1	¥100,000- 公演費用	H23. 3. 11

《 3. 車椅子清掃ボランティア助成事業（公募型） 》

22年度は、新しいグループは立ち上げることができませんでした。

新星堂グループは、安定した活動を続けています。年4回、杉並区内の特別養護老人ホーム「沓掛ホーム」を拠点としています。22年度は、社員21名、延べ人数33名の活動でした。企業が社会貢献活動をするときの長所、例えば、計画性や規律、礼儀などが徹底されていて、模範的な活動といってもよいのではないかと思います。

この助成事業の最大の目的は、住民が地元の特養ホームでボランティアをすることにあります。東日本大震災で多くのボランティアが活躍していますが、災害時だけではなく、日常生活でもボランティア活動をするようになれば、障害者や高齢者の生活環境は大きく向上すると思っています。

表10には、法人の助成事業で立ち上げた新星堂グループの22年度の活動状況をまとめ、表11には、この事業に費やした総経費をまとめました。

表10 車椅子清掃ボランティアの活動状況

実施日	グループ・人数	実施施設名	住 所	台数
H22.4.19	新星堂グループ・9名	沓掛ホーム	東京都杉並区本天沼3-34-28	12台
H22.7.10	新星堂グループ・8名	沓掛ホーム	東京都杉並区本天沼3-34-28	12台
H22.11.27	新星堂グループ・8名	沓掛ホーム	東京都杉並区本天沼3-34-28	14台
H23.2.26	新星堂グループ・8名	沓掛ホーム	東京都杉並区本天沼3-34-28	15台



表11 助成費用明細

実施日	助成対象者	助成品	金額
H22.4.6	行田グループ(特養ホームおきな)	ランチセット等用具一式	¥7,000-
H22.4.13	行田グループ(特養ホームおきな)	自転車エアポンプ	¥1,794-
H22.4.19	新星堂グループ	ボランティア保険11名	¥5,500-
H22.5.14	新星堂グループ	サビ落とし	¥3,000-
H22.5.16	新星堂グループ	ピック	¥1,776-
H22.5.16	新星堂グループ、在庫	アルコール液1リットル×12本	¥15,120-
H22.7.2	新星堂グループ	ボランティア保険5名	¥2,500-
H22.11.27	新星堂グループ	ボランティア保険4名	¥2,000-
H23.1.24	新星堂グループ、在庫	化学スポンジ	¥4,980-
H23.2.21	新星堂グループ	ボランティア保険1名	¥500-
H23.2.26	森工車椅子会	ボランティア保険19名	¥9,500-
		合 計	¥53,670-

表11の最下段にある「森工車椅子会」の「ボランティア保険19名」というのは、社協からの助成金(ボランティア保険に充当)が廃止になったため、法人の助成事業に申請してきたものです。削減、削減という声が出たように聞こえてきます。旧大森学園高校時代から10年以上も続けてきたボランティア活動が、保険を掛けられない、という一事で継続できない事になってしまいます。

因みに、「ボランティア保険」は、全国の社会福祉協議会で受け付けている保険です。社会福祉協議会は、全国社会福祉協議会があり、その下に都道府県の社会福祉協議会があり、更に市区町村の社会福祉協議会があります。これらの社会福祉協議会が、其々の実情に合わ

せて、ボランティアセンターを運営しています。

ボランティアをしたい人は、ボランティアセンターに「ボランティア登録」をすることで、様々なボランティアのチャンスが得られます。この登録をするときに、ボランティア保険に加入するわけです。大震災でも、ボランティアを希望する人は全員、ボランティアセンターで受け付け、ボランティア保険に強制的に加入させました。人命にかかわる災害時には当然のことといえます。

車椅子清掃にもまったく同じ保険を掛けています。車椅子清掃になぜ必要かと申しますと、物損と怪我に備える目的があります。死亡にも適用できますが、車椅子清掃では恐らく起こることはないでしょう。物損に適用できることで、受け入れる施設側が安心できることにもつながります。

《 4. 災害物資支援事業（自主事業） 》

法人にとって、災害支援は、被災地の障害児者と要介護高齢者を対象に行われるもので、健常者の災害に対しては適用できません。従って、災害があったからと言って、福祉施設に被害が無かった場合は適用されることがありません。

22年度は、奄美市の特別養護老人ホーム住用の園に災害支援品を送りました。これは、22年度の第110回臨時理事会で決議された事案です。重複しますが、再度、ご説明いたします。

22年10月20日以降、奄美大島は集中豪雨に見舞われました。10月28日には、奄美市の特別養護老人ホームわだつみ苑の裏山が崩れ、ホームは土砂に押しつぶされ、2名の死者を出しました。同じく奄美市の特別養護老人ホーム住用の園も土砂の下敷きになり、全壊しました。

11月に入り、わだつみ苑との連絡を試みましたが、不通で、移転先の伝言も入っていないため、連絡の取りようがありません。他のルートで探すうちに、わだつみ苑は徳洲会グループとして活動していて、被災後は、グループの他の施設に吸収されているらしいと思われました。大きな資本の医療法人が支えているわけです。特別養護老人ホームとしての活動を再開しているかどうかを調べることは出来ない状態でした。

一方、住用の園は、同グループの訪問介護事業所の中に仮事務所をようやく確保して、事業再開に取り組むところでした。入居していたお年寄りも、全員一時帰宅させて、訪問介護に切り替えざるを得ないという話でした。訪問介護事業も行っていたので、ノウハウには問題が無く、事務用備品は、奄美市からの最低限の補助でどうにか事業ができる状態のようでした。

また、大きな災害にも関わらず、被害があったのはこの2施設らしく、他の施設に聞き取り調査を行っても、高台にあったために、障害児施設や授産施設など他の施設には被害がありませんでした。低地にある民家が被害を受け、死者も出た災害でした。

第110回臨時理事会で、予算30万円として配分審査会で審議し、実行するように決議された事案です。下表のように実行致しました。

実施日	施設名	住所	支援物資
H23. 1. 28	特別養護老人ホーム 住用の園	奄美市住用町摺勝610-1	①パソコン 1台 ソニー・デスクトップ ②プリンター 1台 リコー・イブ・レザー ③消毒セット 4セット 手指消毒器1台 アルコール3リットル マスク1000枚 金額¥275,520-

災害が22年10月28日にあり、支援が実施された日が23年1月28日です。3ヶ月を要しました。災害発生から支援するまでの手続は次のようになっています。

- ①被害程度を調査する。県の社会福祉協議会、地元の社会福祉協議会、被災施設、近隣の施設等に聞き取り調査をする。
- ②支援の予算、支援物資を選択する。
- ③理事会に事案を提出する。(配分審査会の審議に懸ける。)
- ④業者に、品物の確保を依頼する。
- ⑤支援施設に「寄附申請書」を提出する。(事前に意向を伝えておく。)
- ⑥施設の合意を得られたら、支援品を業者に発注する。
- ⑦決められた日に、業者から直接施設に支援品が届く。
- ⑧施設から「寄附受領書」が送られてくる。

この作業の①から⑦までに3カ月もかかってしまいました。被災地の災害対策本部では、障害者や要介護高齢者だけに限った支援を受け付けてはくれませんし、また、情報も無く、独自に調査し、行動する必要があります。そのために、対応が多少遅くなることは避けられません。ですが、災害時ですから、少しでも早い対応が出来るよう、工夫を重ねたいと思っています。

《 5. アンケートの結果 》

法人では、毎年、障害児者施設と要介護高齢者施設にアンケートをしています。その結果を以下の表12にまとめました。

このアンケートの目的は、福祉施設が必要としている物は何かを知ることです。法人で用意するものが施設にとって有益であるかどうか、常に配慮しなければいけない事だと考えています。例えば、高級な物や設備品だけが必ずしも喜ばれる有益なものではないと思います。22年の6月に公募したマスク3千枚には、応募が殺到しました。使い捨て手袋も大変に需要があります。介護現場の声を聴くことは、決して無意味ではありません。

表12 《平成22年度アンケートの結果:平成22年12月実施・対象施設数101》

設問①「業務上、最も必要性の高い消耗品を3点お書き下さい。」

回答:有効回答99。上位10点。括弧内は回答した施設数。

1. トイレtp>ーパー(28)
2. 使い捨て手袋(23)
3. コピー用紙(22)
4. マスク(17)
7. ペーパータオル(16)
7. アルコール消毒剤(16)
7. 洗濯洗剤(16)
8. 手洗い石鹸(13)
9. プリンターインク(12)
10. タオル(9)

※その他:紙おむつ(8)ティッシュペーパー(7)パソコン(4)車椅子(3)コピー機(2)
洗濯機(2)掃除機(2)テレビ(2)冷蔵庫(1)ビデオカメラ(1)DVD(1)
デジカメ(1)車両(1) 等

設問②「外来時などに手指のアルコール洗浄の設備が用意されていますか。」

回答:有効回答99。「はい」(91)92% 「いいえ」(8)8%

設問③「②の設問で「はい」の方、どのような方法ですか。」

回答:有効回答91(母数91)。

手動(ボトル)(70)77% 洗浄器(7)8% 併用(14)15%

設問④「何か所に何本または何台ご用意していますか。」

回答:有効回答91(母数91)。回答した施設の総合計は538か所578本103台。

※91施設で538か所、1施設平均6か所弱。1施設最高は29か所。

洗浄器は21施設で103台、1施設平均5台弱。

設問⑤「1年間でアルコールは何リットルくらい必要ですか。」

回答:有効回答73。回答した施設の総合計は17888リットル。

1施設平均245リットル。最高は15000リットル。

設問⑥「②の設問で「いいえ」の方、用意すべきだと思いますか。」

回答:有効回答8(母数8)。「はい」(7)「いいえ」(1)

設問⑦「手指のアルコール洗浄の設備が用意されていない方、その理由をお書き下さい。」

回答:有効回答8。

1. 他の消毒剤(次亜塩酸Na)を使っている。
2. 来客が少ない。
3. 使用料、使用方法の管理が難しい。
4. 経費がかかる。
5. 設置するよう(国や行政からの)指示が無い。
6. 体育館が活動場所なので不要。
7. 置き場を確保できない。
8. 必要性は認めるが…今後準備する。

設問⑧「車椅子は十分に足りていますか。」

回答:有効回答64。 足りている(41)64% 不足している(23)36%

設問⑨「車椅子は定期的に清掃していますか。」

回答:有効回答42。 している(23)55% 時間的に無理(14)33%

そういう事を知らなかった(5)12%

設問⑩「車椅子を定期的に清掃したいと思いますか。」

回答:有効回答57。 思う(53)93% 思わない(1)2% よくわからない(3)5%

今回は、手指洗浄器についての設問もあります。アルコール洗浄している施設は91施設（92%）、そのうち21施設（23%）で手指洗浄器を使っています。とはいえ、洗浄器だけを使っているのは7施設（7%）で、14施設はボトルと併用しています。

また、車椅子に関する設問では、3割強の施設で不足していると答えています。1年前のアンケートとほとんど同じ結果になっています。

Ⅲ 法人の運営

《 1. 総会の開催 》

①第45期第108回定例社員総会

日 時：平成22年5月20日（木） 自午後3時15分 至午後5時00分

開催場所：エビススバルビル402会議室 東京都渋谷区恵比寿1-20-8

社員総数：51名（出席社員は欠席委任状を含む40名）

- 議 案：一 平成21年度第44期事業報告書の承認
二 平成21年度第44期会計報告書の承認
三 役員改選による新役員の選任

②第45期第109回臨時社員総会

日 時：平成22年9月29日（水） 自午後3時15分 至午後4時55分

開催場所：エビススバルビル402会議室 東京都渋谷区恵比寿1-20-8

社員総数：47名（出席社員は委任状を含む42名）

- 議 案：一 予定される定款の承認
二 予定される諸規定の承認
三 予定される役員の選任とその方法

③第45期第110回定例社員総会

日 時：平成22年11月29日（月） 自午後3時15分 至午後4時40分

開催場所：エビススバルビル402会議室 東京都渋谷区恵比寿1-20-8

社員総数：51名（出席社員は委任状を含む35名）

- 議 案：一 平成23年度第46期事業計画案の承認
二 平成23年度第46期予算案の承認
三 公益認定申請事項の報告及び承認
四 特定資産取り崩しの承認
五 奄美大島災害支援の承認
六 会員異動の承認

《 2. 理事会の開催 》

①第45期第108回定例理事会

日 時：平成22年5月20日（木） 自午後1時15分 至午後3時05分

開催場所：エビススバルビル402会議室 東京都渋谷区恵比寿1-20-8

理事総数：18名（出席理事は委任状含む15名）

監事総数：2名（出席監事は2名）

議 案：一 平成21年度第44期事業報告書の承認

二 平成21年度第44期会計報告書の承認

三 役員改選による新役員の選任

②第45期第109回臨時理事会

日 時：平成22年9月29日（水） 自午後1時15分 至午後3時10分

開催場所：エビススバルビル402会議室 東京都渋谷区恵比寿1-20-8

理事総数：19名（出席理事は委任状を含む19名）

監事総数：2名（出席監事は2名）

議 案：一 予定される定款の承認

二 予定される諸規定の承認

三 予定される役員の選任とその方法

③第45期第110回定例理事会

日 時：平成22年11月29日（月） 自午後1時15分 至午後3時05分

開催場所：エビススバルビル402会議室 東京都渋谷区恵比寿1-20-8

理事総数：18名（出席理事は委任状を含む17名）

監事総数：2名（出席監事は2名）

議 案：一 平成23年度第46期事業計画案の承認

二 平成23年度第46期予算案の承認

三 公益認定申請事項の報告及び承認

四 特定資産取り崩しの承認

五 奄美大島災害支援の承認

六 会員異動の承認

《 3. 配分審査会の開催 》

配分審査会は、常任理事（専務理事と常務理事）5名と事務局長1名で構成されています。コロムビアライト常務理事のご逝去により、現在は、（敬称略）久保明、天地総子、原一平、小野由紀子、市川顯の5名で運営されています。

①第45期第3回配分審査会

開催日時：平成22年6月29日（火） 自午後5時20分 至午後6時25分

開催場所：社団法人あゆみの箱事務局

委員総数：6名（出席委員は4名）

議案：一 上野水上音楽堂における障害児招待コンサート助成の審議
二 マスク6万枚の配分に関する審議

②第45期第4回配分審査会

開催日時：平成22年7月26日（火） 自午後5時10分 至午後5時40分

開催場所：社団法人あゆみの箱事務局

委員総数：6名（出席委員は4名）

議案：一 マスク6万枚配分の結果報告
二 釧路地域の施設に対する配分の審議
三 障害児招待コンサート助成の結果報告

③第45期第5回配分審査会

開催日時：平成22年10月26日（火） 自午後5時30分 至午後6時40分

開催場所：社団法人あゆみの箱事務局

委員総数：6名（出席委員は4名）

議案：一 年末配分（クリスマスプレゼント）に関する審議
二 東京都精神障害者バレーボール大会の助成に関する審議
三 自動消毒薬液噴霧供給器（手指洗浄器）の取り扱いについて
四 奄美大島災害支援に関する動議

④第45期第6回配分審査会

開催日時：平成22年12月13日（火） 自午後5時20分 至午後6時50分

開催場所：社団法人あゆみの箱事務局

委員総数：5名（出席委員は4名）

議案：一 奄美市住用の園災害支援の具体策の審議
二 放課後クラブゆめクラブからの助成申込に対する審議
三 手話紙芝居ボランティアグループわの会からの助成申し込みに対する審議

⑤第45期第7回配分審査会

開催日時：平成23年2月28日（月） 自午後5時20分 至午後6時00分

開催場所：社団法人あゆみの箱事務局

委員総数：5名（出席委員は5名）

議案：一 元気で生きよう会からの助成申し込みに対する審議

《 4. 運営会議 》

運営会議は、専務理事、常務理事、理事、事務局長、正会員など7名で構成されています。18年2月、野田洋典前事務局長の急逝により事務局が不安定になった事を機に、法人の維持運営のために専務理事と常務理事、有志の正会員が定期的に会合を持った事が始まりです。後任の事務局長が決まった後も、事務局をフォローするために、毎月1回の会合は続けられ、今日に至っています。

常任理事会の構成になってはいますが、総会、理事会、配分審査会を超える権限を持た

ず、また、何らの決定権も持ちません。いずれは常任理事会に昇格し、権限を持つ必要性が出てくることも考えられます。

構成メンバーは、久保明専務理事、天地総子常務理事、原一平常務理事、小野由紀子常務理事、市川顯理事・事務局長、宝井駿之介理事、佐々木文生正会員の7名です。

《 配分の決定 》

法人の配分事業は、その決定が理事会にあります。理事会は、定例理事会が年2回の開催であるため、迅速な配分事業が為されない場合が多くあります。例えば、災害が発生したとき、福祉団体から助成金の要請があったときなどがそれに当たります。そのために「配分審査会」を設置し、迅速に対応できる体制を考えています。

ただ、配分審査会は理事会の権限を超えることはできず、権限の一部を委任されているに過ぎません。具体的には、寄附、助成、支援金の上限が1件につき10万円以内についての決定権を委譲されているだけです。したがって、その金額以上の配分が為される場合には、理事会の承認が必要となります。

平成23年度に予定されている10万円を超える配分事業（助成金、支援金も含む）の審議をお願い致します。

《 配分事業予定 》

①東日本大震災義援金 平成23年7月予定

第1回の締め切りが6月30日ですので、7月の早い時点で義援金を届けたいと思っています。1か所に決めるか、複数の施設に分散させるか、地域はどこが適当か、など、または、それらを配分審査会に委任する、などなど、理事会の承認が必要です。

②東京都精神障害者バレーボール大会助成金 平成23年11月中旬予定

事務局には、既に、バレーボール大会実行委員会から助成の打診が入っています。1つ目は、参加約60チーム（障害者団体）の練習用バレーボールの購入資金の助成、2つ目は、大会当日の優勝賞品6点の助成です。

・練習用バレーボール100個の購入資金	約12万円
・優勝賞品6点	約18万円
計	30万円

③年末配分(クリスマスプレゼント)事業 平成23年12月下旬予定

毎年100施設に寄附しています。予算は、収入によって異なりますが、23年度は550万円を考えています。1件あたりは10万円以下ですが、総額が大きいために、この総額に対して、改めて理事会の承認を頂きたいと思います。収入が大幅に減少した場合には、550万円を下回ることもありますので、ご了承をお願い致します。

今後の街頭募金に関する提案

《 今回の街頭募金の経緯 》

この度の大震災の義援のため、3月30日から4月10日の12日間で8回の街頭募金を行いました。役員および会員の皆様には、スケジュールを調整してご参加を頂き、改めて御礼を申し上げます。

3月22日、世田谷区議の青空こうじ氏から募金箱を借りたいとの申し入れがありました。世田谷区を中心にする事、自分一人でも街頭に立つこと、連続して8回ほど行いたいこと、1時間程度にしたいこと、集金・集計はあゆみの箱で行ってほしいこと、などなど。

氏は、法人の会員ではありませんので、あゆみの箱の事務局が立ち会うのであれば、箱を貸すことができます。必ず青空こうじ氏と事務局が街頭に立つことを条件にして街頭募金をすることで合意しました。直ちに、全役員にスケジュールを配布し、御協力を求めたことは御承知の通りです。

自由参加にした理由は、1. 芸能人のスケジュールを全員で合わせることは不可能であること、2. 参加を義務付けるには理事会の承認が必要であること、の2点からです。また、街頭募金には必ず芸能人が参加することが、あゆみの箱の街頭募金であると考えていますので、スケジュールは、必ず参加する青空こうじ氏に合わせました。

道路使用許可証を取り付けて知ったことは、通行の邪魔にならない人数（3人程度）しか街頭に立てない、特に今は大震災の募金活動が活発なので2人しか立てないところもある、という事でした。当初は、正会員や賛助会員にも周知し、大勢の参加を考えていましたが、混乱を避ける意味で、役員以外の会員には通知は出さない事にしました。

8回の街頭募金で集まった義援金は、以下の表の通りです。

【 街頭募金の集計 】

	氏 名	金 額
3月30日	街頭募金 東京・下北沢	20,382-
3月31日	街頭募金 東京・二子玉川	7,688-
4月 1日	街頭募金 東京・三軒茶屋	55,406-
4月 3日	街頭募金 東京・自由が丘	7,032-
4月 5日	街頭募金・東京・渋谷	13,611-
4月 8日	街頭募金 東京・成城学園前	14,961-
4月 9日	街頭募金 東京・千歳烏山	7,333-
4月10日	街頭募金 東京・浅草	54,364-
	総 計	180,777-

《 今後の街頭募金に関する提案と趣旨 》

7月に入ると、第2次の義援金募集に掛ります。金額の多寡にかかわらず、災害を風化させないために、公益法人として為すべきことと認識しています。同時に、街頭募金も、定期的に計画的に行なう事は必要ではないかと考えています。

法人の街頭募金で不可欠なものは、芸能人の参加です。芸能人による募金活動があゆみの箱の原点ですから、街頭募金もまた芸能人によるものであるべきだと思います。この場合、2通りの方法が考えられます。

- ①事務局が日にちを決め、参加できる芸能人に頼む 事務局主導
- ②担当理事（芸能人）を決めて、担当理事が行う 芸能人主導

②の方があゆみの箱らしい、好ましい方法のように思えます。ただ、担当理事では、細かいことまで手が回りません。当然、それは全て事務局がフォローいたします。②で実行する場合の作業のイメージは次のようになります。

- ・担当理事が日時と場所を決める。
- ↓ ・事務局が道路使用許可証など必要なものを確保する。
- ↓ ・事務局が担当理事と連名で役員・会員に周知し、参加を呼び掛ける。
- ↓ ・事務局が当日の準備をする。
- ・当日は担当理事が指揮する。

担当理事には、不要な負担をお掛けすることはないと思っています。街頭募金の必要性を感じて、実行する気持ちさえ持っていただければ、他の事は事務局が全て行います。

この趣旨のもとに、担当理事を決めて、他の役員が協力するという体制を決めては如何でしょうか。

1. 名称 例：街頭募金担当理事 義援募金担当理事 など
2. 担当理事の選任
3. 時限措置（義援金募集の期間だけ、など）にするか、永続性のものにするか
4. 任期

以上の決議を踏まえて、今後の街頭募金を行います。また、規程も用意すべきですので、「街頭募金規程（仮称）」の草案を作り、次回の理事会に提出する予定です。